

# ティンメットグループ 供給会社の環境評価システム

ティンメット社は供給会社に対して送付する質問票を作成した。これは、木材がどの森林から伐採されたものであるかの追跡状況や、現場における森林管理の状況のほか、供給会社の環境方針や認証への取組みに関する情報を収集するためである。この質問票は、地域ごとに現実的にどのような情報が得られるかに基づき、地域ごとに使い分けられている。たとえば、アフリカやミャンマー（ビルマ）の供給会社に対しては、認証に関する質問は除外されている。

ティンメット社は、すべての供給会社に関する情報を完全に把握することを目的としたプログラムを開発した。質問票から得られた情報は、調達担当者や環境コーディネーターが海外の供給会社を訪問した際に補完される。こうした訪問の際には、環境問題や質問票の内容についても、供給会社の経営陣と議論している。ティンメット社は、さらに補完的に情報を収集するために、複数の業界団体や環境団体とも連絡をとっている。

ティンメット社は、環境問題の統括責任者である管理者を任命している。また、環境コーディネーターを任命し、質問票の送付、供給会社の環境データベースの編集、供給会社の環境信頼性の評価についての責任を負っている。

評価システムによって、供給会社の環境に関する信頼性を分類している。評価システムは以下の通りである。

A：FSC または他の第三者機関によって認証されている。

FSC または他の第三者機関によって認証された木材、製品を調達している。

B：明文化された環境方針と、すべての木材が適切に管理された森林からのものでなければならぬと明記された木材調達方針がある。

調達された木材や製品に含まれる木材のすべてまたはほぼすべてを追跡できる。

認証材の割合は低いかもしれない。

C：明文化された環境方針はないが、積極的に環境問題に対して取り組んでいる証拠がある。

調達された木材や製品に含まれる木材のすべてまたはほぼすべてを追跡できる。

認証材の割合は低いかもしれない。

D：明文化された環境方針がなく、積極的な環境問題への取組みも見られない。

調達された木材や製品に含まれる木材のすべてまたはほぼすべてを追跡できる。

認証材の割合は低いかもしれない。

E：明文化された環境方針がない。

調達された木材を追跡できない。

主張する内容に対して証明するものが提出されない。

F：質問票に対する回答が得られない。

アフリカやミャンマーの供給会社に対しては、この分類は異なるものを用いている。なぜなら、これらの国の多くでは、現時点で認証材がないからである。

現在、A,B,C,D に分類された供給会社が推奨され、E,F は避けられている。

それぞれの供給会社を分類した結果と、その根拠を一覧表にしたマニュアルは、ティンメット社の管理部門および調達部に配布される。調達部は、このマニュアルを用いて高く評価された供給会社を優先することができる。このマニュアルは6ヶ月ごとに更新している。ティンメット社の目的は、高く評価された供給会社からの木材調達を段階的に増やしていくことにある。